

アラビアのロレンス (1962)

LAWRENCE OF ARABIA

メディア 映画
ジャンル ドラマ 歴史劇
製作国 イギリス
色彩 Color
時間 207分
初公開日 1963/02/14
公開情報 COL
1973/02 [COL]
リバイバル 1974/01 [COL]
1975/04 [COL]

【キャッチコピー】

灼けつく大砂漠を越えて今ロレンスが進撃する！（リバイバル時）

【解説】

1916年、カイロに赴いている英国陸軍のロレンス少尉は、トルコへの反乱に意気込むアラブ民族の現状を確かめに向かった。そこで彼は反乱軍の非力を痛感し、アラブ種族をまとめ上げてゲリラ戦へ打って出ることになった。やがて、トルコの一大拠点を巡って激闘を展開し、勝利する。そして、再びゲリラ戦の指揮官として新しい任務を与えられ、トルコ軍を打倒するロレンス。だが、一方でアラブ同士の争いが起こり、彼も尽力むなしく徐々に孤立していく…。

D・リーンの数ある名作の中でも紛れもない最高傑作で、アカデミー賞7部門を受賞。1914年、第一次大戦中のアラブ。砂漠の利権を狙い侵攻するトルコ軍とアラブ人たちとの激突、大英帝国の介入と、激動するアラブ社会に突如現れた英国人T・E・ロレンス。ドラマは、砂漠とその民を深く愛し、しかし英国人であるがために深い挫折に追い込まれていく青年リーダー、ロレンスの苦悩を中心に、砂漠の一大戦争スペクタクルを展開していく。ベドウィン族の戦闘部隊が一瞬の内に一村を壊滅させるシーン、疾走する列車を爆破するシーン他、その迫力は今なお圧倒的で、今日では絶対撮影不可能とまで言われている。D・リーンが長年こだわり続けている“人間と自然”“西欧文明と異文化の相克”のテーマがここでも徹底して描かれ、深い感動を呼ぶ。

【クレジット】

監督	デヴィッド・リーン	David Lean	
製作	サム・スピーゲル	Sam Spiegel	
原作	T・E・ロレンス	Thomas Edward Lawrence	
脚本	ロバート・ボルト	Robert Bolt	
撮影	フレデリック・A・ヤング	Frederick A. Young	
	ニコラス・ローグ	Nicolas Roeg	(第二班)
編集	アン・V・コーツ	Anne V. Coates	
音楽	モーリス・ジャール	Maurice Jarre	
出演	ピーター・オトゥール	Peter O'Toole	ロレンス
	アレック・ギネス	Alec Guinness	ファイサル王子
	オマー・シャリフ	Omar Sharif	アリ酋長
	アンソニー・クイン	Anthony Quinn	アウダ・アブ・タイ
	ジャック・ホーキンス	Jack Hawkins	アレンビー将軍
	アーサー・ケネディ	Arthur Kennedy	ジャクソン・ベントリー

クロード・レイNZ	Claude Rains	ドライデン
ホセ・ファーラー	Jose Ferrer	ベイ司令官
アンソニー・クエイル	Anthony Quayle	ブライトン大佐
ドナルド・ウォルフィット	Donald Wolfitt	
マイケル・レイ	Michel Ray	
ジョン・ディメック	John Dimech	